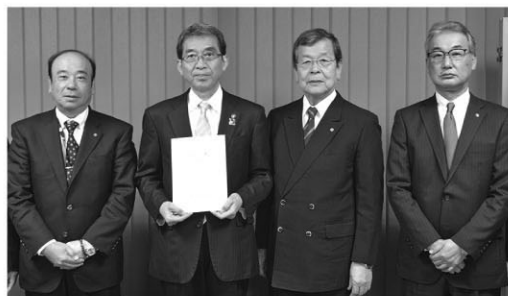


舞鶴市長と京都府中丹広域振興局長へ 平成30年度の商工施策として5項目を要望

より良い“まちづくり”に向け、舞鶴商工会議所会員の思いを込めた「平成30年度商工施策」について、11月21日小西剛会頭を先頭に京都府・舞鶴市へ要望を行いました。内容については、去る9月6日から27日にかけて開催した10部会で、国や府、市の事業をはじめ、各業界が抱える課題の解決に向けた取り組みの推進や、新規提案などを議論しました。この結果について、正副会頭会議などで5項目に集約したものです。



舞鶴市へ会員の意見を集約した「要望書」を提出

要 望 の 内 容

(前文の要約)

私たちの願いは「成長する経済」の実現です。それを波及させるには、潜在成長率を引き上げるための「働き方改革」、「生産性の向上」、「設備投資の増加」などのサプライサイド政策(注1)を実行し、強固な成長基盤を構築することが必要です。これらを実現するための施策として、以下の5つのテーマを要望します。

1. 地元企業に優先発注

地元企業を優先活用することは、企業の経営だけでなく、そこで働く従業員の雇用と生活を守ります。また、地方財政を支える健全な納税者を守り育てることもなります。そして、地元の中小企業を活性化し元気な企業を増やすことは、豊かなまちづくりをすることでもあります。

このことから、地元での公共工事並びに補助金を交付する民間工事等の発注につきましては、過度な競争原理による入札制度で地元企業が排除されないように、また、適正な利益が確保出来るよう分離分割発注などの手法に加えて、許される範囲内で市外業者に遠慮してもらうなどの工夫を講じて、是非とも地元企業への優先発注をお願いします。

なお、最低入札価格制度のない「物品・役務の発注」につきましては、“価格”だけでなく“品質”や“環境に配慮した取り組み”等を考慮した「落札予定価格」を設定するなど、よりの確な「入札制度」になるようお願いします。

2. まちと市民を守るインフラの整備

日本海側国土軸の形成におけるこの地域の重要性・必要性は、実に大きいものがあります。道路・鉄道・港湾が整備され供用されることで、人流・物流の効率化・活発化による、民間投資の誘発や観光交流が促進され、定住人口の減少を補うことのできる「交流人口」拡大

の可能性が大きく広がります。

また、市民の生命と生活を守り、地域の経済活動を支える、橋や道路・トンネル・河川・港湾などのインフラ整備は、新設だけでなく保守や補修に必要な投資を怠れば、経済活動の停滞を招くだけでなく国土の保全や安全も徐々に崩壊してしまいます。

地方には、まだまだやるべき「仕事」がたくさんあります。社会資本を整備・充実するために必要な公共事業を実施することは、地域活性化や地域間格差の是正をすることにもなります。

つきましては、「京都舞鶴港」の機能強化や、「府道小倉西舞鶴線(白鳥トンネル区間)・「舞鶴若狭自動車道(福知山IC～舞鶴西IC)」の4車線化、「国道27号西舞鶴道路」の整備促進、「由良川緊急治水対策」や「西市街地の総合治水対策」等々が早期に完成するよう、さらには「山陰新幹線京都府北部ルート誘致」が実現するようお願いします。

3. 街なかの再生

経済人にとって、「まち(地域)」はビジネス現場であり、その従業員を含む市民の生活の場でもあることから、まち(地域)を再生することは企業活動をする上で極めて大切なことです。

現在、本市においては徐々に人口の郊外化が進んでいます。特に、商店街のある旧来からの中心市街地では、今後、人口密度が低下することが予測され、このままでは、将来、生活サービス施設や公共交通の存続が困

(注1) サプライサイド政策：規制緩和と構造改革で企業を刺激し、経済の活性化を図る政策